

令和元年度水防功労者国土交通大臣表彰について (お知らせ)

水防に関し著しい功労のあった県内の消防団に対し、2月10日に国土交通大臣表彰が行われますので、お知らせいたします。

記

1. 表彰式

- (1) 日 時 令和2年2月10日(月) 13時30分から
(2) 場 所 国土交通省(中央合同庁舎第3号館) 10階共用会議室

2. 受賞団体

- ・常陸大宮市消防団 (岡山 勝彦 団長)
- ・大子町消防団 (藤田 稔 団長)
- ・常陸太田市消防団 (大畠 邦幸 団長)
- ・城里町消防団 (森田 主税 団長)
- ・神栖市消防団 (金本 吉明 団長)
- ・結城市消防団 (廣江 一夫 団長)
- ・水戸市消防団 (海老根 正夫 団長)
- ・大洗町消防団 (高崎 公男 団長)
- ・境町消防団 (加藤 正則 団長)
- ・那珂市消防団 (住谷 啓二 団長)

3. 功績の概要

別紙参照

※表彰式の公開は、報道関係者のみに限られております。取材をご希望の方は、下記の問い合わせ先まで氏名・所属・連絡先を登録のうえ、ご来場ください。

【取材にあたっての問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室
代表電話 03-5253-8111 (内線) 35452, 35455

本資料提供についての問い合わせ先

茨城県土木部河川課 水防災・砂防対策室長 栗林 俊一

[TEL:029-301-4490](tel:029-301-4490) (内線 4474)

(参考) 水防功労者国土交通大臣表彰

水防法第46条及び「水防功労者表彰規則」に基づき、水防管理者の所轄の下に水防に従事し、当該水防に著しい功績のあった個人又は団体を表彰する制度。

都道府県からの推薦に基づき、下記の基準により選定。

- 団体・・・①洪水等に際し、水防活動に従事し、被害の軽減に功労のあった団体
②水防体制の整備、水防思想の普及に尽力し、功労のあった団体
- 個人・・・①水防団の役員（団長、分団長等）を15年以上勤務する等、水防作業等に専心し、その功績が他の模範となる者
②水防技術の向上や伝承、水防体制の整備、水防思想の普及に尽力し、功労のあった者

県内受賞団体一覧 ～10団体～

ひたちおおみやしょうぼうだん おかやま かつひこ

○常陸大宮市消防団（岡山 勝彦 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月14日にかけて、延べ1,600名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民61名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

だいがまちしょうぼうだん ふじた みのる

○大子町消防団（藤田 稔 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から、延べ1,034名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民3名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

ひたちおおたしょうぼうだん おおはた くにゆき

○常陸太田市消防団（大畠 邦幸 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月31日にかけて、延べ994名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民19名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

しろさとまちしょうぼうだん もりた ちから

○城里町消防団（森田 主税 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月13日にかけて、延べ519名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導、住民44名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

かみすししょうぼうだん かねもと よしあき

○神栖市消防団（金本 吉明 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月15日にかけて、延べ507名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

ゆうきししょうぼうだん ひろえ かずお

○結城市消防団（廣江 一夫 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月13日にかけて、延べ486名が河川等の警戒巡視とともに、排水活動、住民の避難誘導、住民40名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

みとししょうぼうだん えびね まさお

○水戸市消防団（海老根 正夫 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月13日にかけて、延べ453名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

おおあらいまちしょうぼうだん たかさき きみお

○大洗町消防団（高崎 公男 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月13日にかけて、延べ256名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、排水活動、住民の避難誘導を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

さかいまちしょうぼうだん かとう まさのり

○境町消防団（加藤 正則 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月13日にかけて、延べ129名が河川等の警戒巡視とともに、住民の避難誘導、住民21名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

なかししょうぼうだん すみや けいじ

○那珂市消防団（住谷 啓二 団長）

【功績の概要】

令和元年台風第19号に際し、令和元年10月12日から10月13日にかけて、延べ107名が土のう積み工を用いた水防活動とともに、河川等の警戒巡視、水門閉鎖、住民の避難誘導、住民4名の救助を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。